



平成22年5月27日

平成22年度東京消防庁・足立区合同総合水防訓練の実施について

東京消防庁では、台風や集中豪雨が多発する時季の到来を前に、水防管理団体（足立区）等関係機関との緊密な連携を図りつつ、職員・団員等による水防工法の演練、組織力及び機動力の結集による救助訓練等実戦的な総合水防訓練を実施します。また、地域住民が災害対策の主役であるとの観点から、住民向け簡易水防工法等の体験型訓練を充実し、水災対策の普及を推進します。

訓練には、当庁職員650名をはじめ、消防団、足立区役所職員、地域住民など17機関1,160名が参加し、消防車両等による実戦的な水防工法の実施や、住民参加の都市型水防工法等の実体験、集中豪雨により水没した家屋や車両の中に多数のけが人が発生したとの想定による救出活動を本番さながらに展開します。

記

1 日時

平成22年5月29日（土）9時30分から11時00分まで

2 場所

足立区千住大川町32番先 荒川右岸河川敷（別図1、2参照）

3 点検者等

点検者	消防総監	新井 雄治（あらい ゆうじ）
	足立区長	近藤 やよい（こんどう やよい）
統裁者	警防部長	佐藤 康雄（さとう やすお）
	足立区長	近藤 やよい（こんどう やよい）
指揮者	第六消防方面本部長	高橋 淳（たかはし じゅん）
	足立区都市建設部長	岡野 賢二（おかの けんじ）

4 参加人員等

(1) 東京消防庁	650人
(2) 足立区	100人
(3) 足立消防団	80人
(4) 千住消防団	40人
(5) 西新井消防団	40人
(6) 足立区内各署災害時支援ボランティア	5人
(7) 東京都第六建設事務所	2人
(8) 東京都下水道局	3人
(9) 国土交通省荒川下流河川事務所	4人
(10) 東京DMA T	3人
(11) ジャパンケネルクラブ	2人
(12) 全国災害救助犬協会	2人
(13) 日本救助犬協会	2人

(14) 日本レスキュー協会	1人
(15) 東京都地下鉄株式会社	6人
(16) 首都圏新都市鉄道株式会社	6人
(17) 関係町会	214人
合計 参加人員	17機関 1,160人

5 参加車両

(1) 消防車両	56台
(2) 消防ヘリコプター	2機
(3) 消防艇	4艇
(4) その他	19台
合計 参加車両	81台 (ヘリ・舟艇含む。)

6 訓練想定

台風の影響で活発化した前線に伴う集中豪雨により、足立区内の随所で道路冠水、家屋への浸水等が発生した。住民は自主的に各種浸水防止工法を実施するが、荒川が増水し避難判断水位に達した。消防隊は、越水危険の発生した荒川において各種水防工法を実施するとともに、浸水家屋等に取り残された要救助者を消防ヘリコプター及び救命ボートにて救助します。

また、区内の崖地では土砂崩れにより多くの要救助者が発生したため、消防隊は組織力及び機動力を発揮した救助活動により要救助者を救出します。

7 訓練進行

別表のとおり

8 会場全体図

別図3のとおり

9 その他

- (1) 雨天時は原則決行しますが、状況により訓練の一部中止又は中止となる場合があります。当日7時までに決定しますので、判断に迷う場合は広報課報道係までお問い合わせください。
- (2) 取材時は必ず自社腕章を着用してください。
- (3) 受付は上流側本部テントで行います。(別図3参照)
- (4) 現場でのレクチャーは、9時00分から受付した場所にて行います。
- (5) 現場は職員、消防車両等が頻繁に往来するほか、ヘリコプター飛来に伴う小石等の飛散の危険があるので事故防止に十分注意してください。
- (6) 車両でお越しの方は駐車場Cを利用してください。
なお、駐車場係員の指示に従ってください。(別図2参照)

問い合わせ先

〔	東京消防庁(代)	電話	3212-2111
	広報課報道係	内線	2345~2350

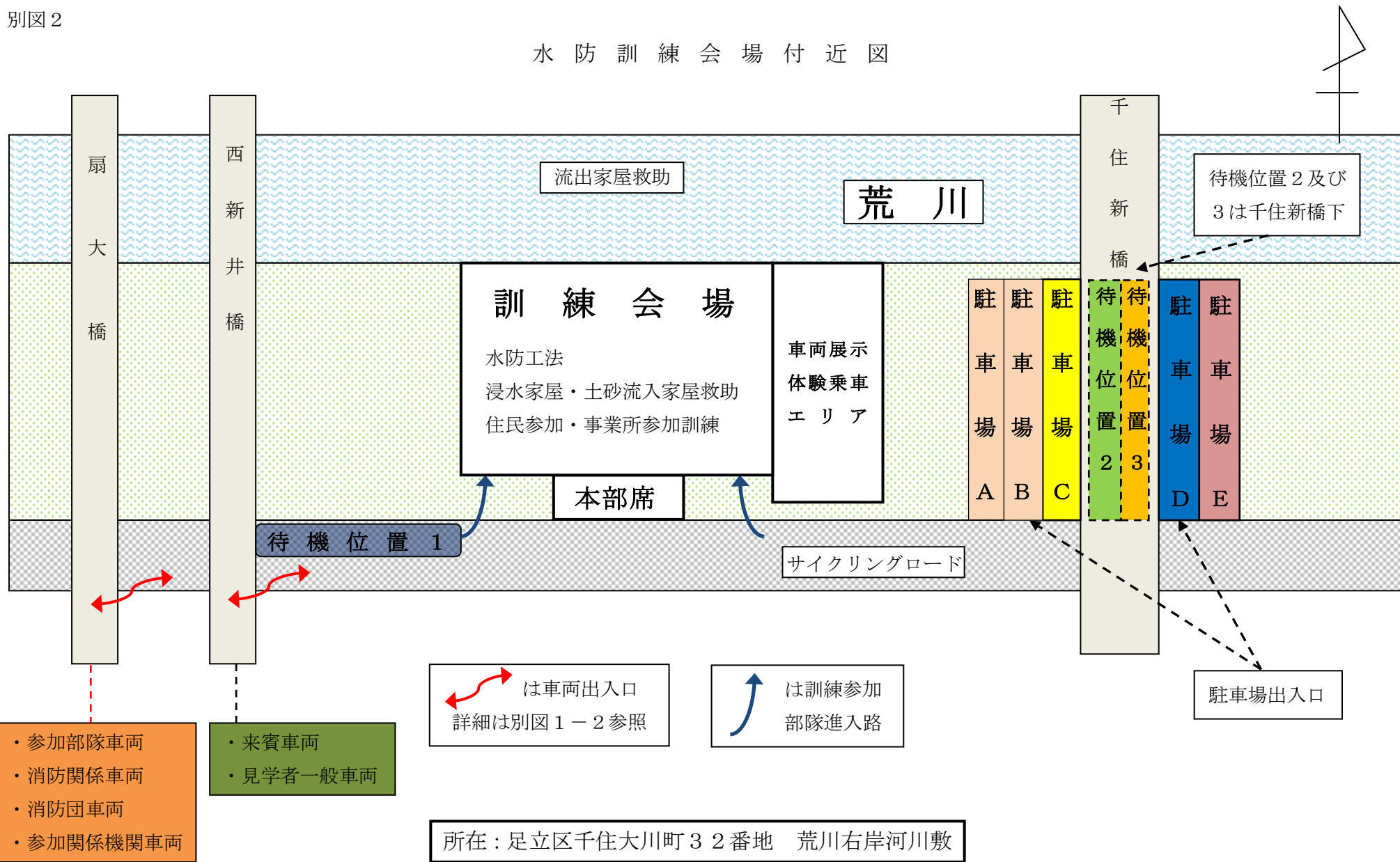
別図1

水防訓練現場案内図



別図2

水防訓練会場付近図



東京消防庁・足立区合同総合水防訓練イメージ図

